新たなごみ広域処理施設に関する説明会

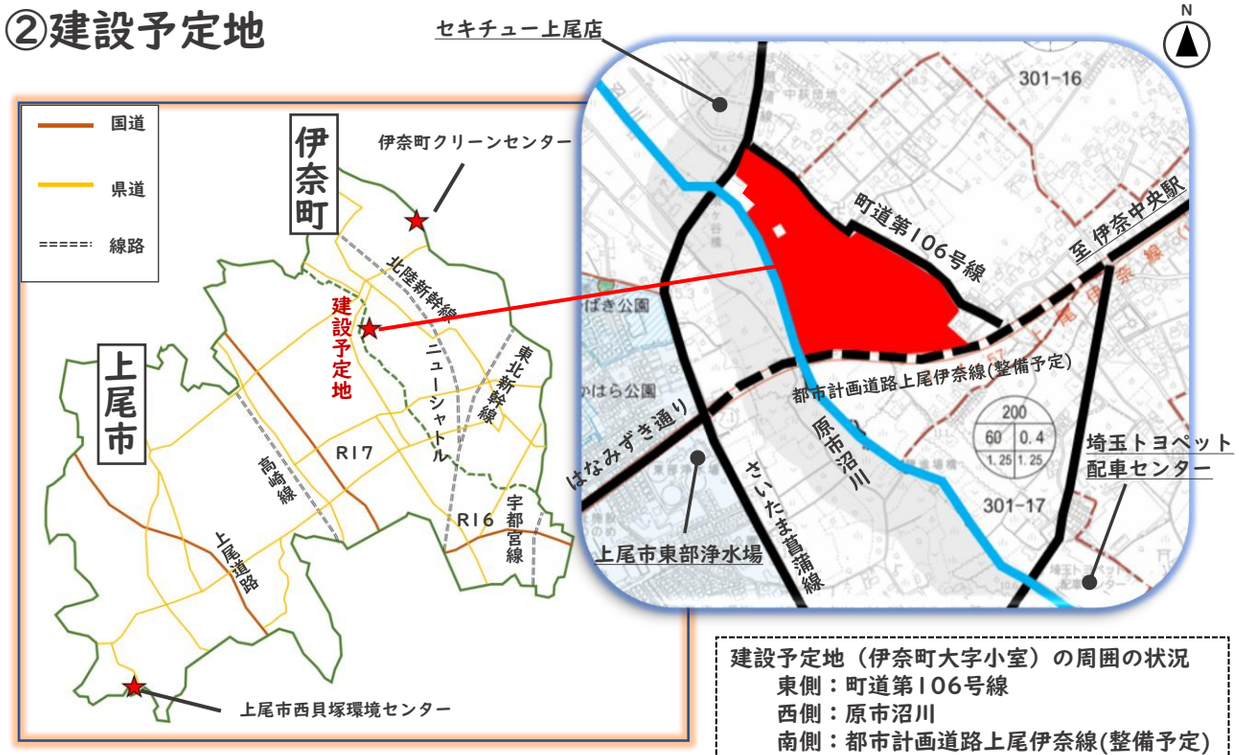
おもて

①これまでの経緯

上尾伊奈資源循環組合は、上尾市と伊奈町の新たなごみ広域処理施設の整備に向けて各種事業に取り組んでいます。令和５年度には、施設の基本的な方向性を定めた施設整備基本構想、令和７年度には、より具体的な内容を定めた施設整備基本計画を策定しました。

施設整備における４つの基本方針	・環境にやさしい施設 ・安全、安心で、安定した施設 ・地域に貢献し、住民に親しまれる施設 ・経済性に優れた施設

②建設予定地



建設予定地（伊奈町大字小室）の周囲の状況
東側：町道第106号線
西側：原市沼川
南側：都市計画道路上尾伊奈線(整備予定)
北側：県道さいたま菖蒲線

③施設の概要

施設名称	(仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設
敷地面積	約7.55ha
主要建物	管理棟…組合事務室、会議室など 工場棟 ┌ 可燃物処理施設（可燃ごみ） 　　├ 不燃・粗大ごみ処理施設（不燃ごみ、粗大ごみ） 　　├ 資源物処理施設（ビン、缶、ペットボトル、プラスチック類） 　　└ ストックヤード（紙類・布類、牛乳パック、小型家電、電池など）
施設規模	可燃物処理施設：180トン/日（90トン/日×2炉） 不燃・粗大ごみ処理施設：27.9トン/日 資源物処理施設：44.6トン/日
可燃ごみ処理方式	ストーカ式焼却方式－可動する火格子（ストーカ）の上にごみを供給し、火格子の下から空気を吹き込みながら燃焼する方式
受付日 受付時間	月曜日～金曜日　※一般持込みの土曜日又は日曜日の受付を検討中 8：45～11：30、13：00～16：15

④周辺環境への対策

排ガス(煙突高59m)	ばいじん	0.01g/Nm3以下(法令値「0.08」)
	硫黄酸化物	20ppm以下(法令値「1,400」)
	窒素酸化物	50ppm以下(法令値「180」)
	塩化水素	20ppm以下(法令値「123」)
	ダイオキシン類	0.1ngTEQ/Nm3以下(法令値「1」)
	水銀	30μg/Nm3以下
給水		周辺水源(地下水)を使用せず、上水単独使用を採用
排水	雨水排水	調整池で流量調整して原市沼川に放流。水質汚濁防止法の基準
	プラント・生活排水	周辺水域に排水せず、下水道に排水。下水道法の基準等
騒音		昼間55dB以下、朝夕50dB以下、夜間45dB以下
振動		昼間60dB以下、夜間55dB以下
悪臭		臭気指数18以下

法令規制値よりも厳しい**自主基準値**を定めます。

※施設内の負圧管理や吸気口の適切配置により、飛散物質の漏洩を防止します。

⑤主要な機能

	主な内容、方向性
エネルギー回収	・ごみ焼却熱による発電を実施(エネルギー回収率：19%以上) ・場内の消費電量を発電した電力で賄う ・余剰電力は売電（売電収入：年間約2.2億円見込）
防災・災害対応	・大地震動後でも、大きな補修をすることなく使用可能な、耐震安全性「Ⅱ類-A類-甲類」を確保 ・周辺住民に一時的な避難場所を提供
環境学習機能	・子供だけでなく大人も学べる学習機能 ・見学者受入のための会議室
その他	・広場・公園機能（災害時：災害廃棄物仮置場） ・まだ使える粗大ごみ等の提供 ・EV車充電設備 ・体育室（災害時：一時的な避難場所） ・研修室

新たなごみ広域処理施設に関する説明会

うら

⑥配置図（案）

⑦概算事業費

令和７年にプラントメーカーから得た見積金額を参考に概算事業費(建設費)を算出しました。運営費は年間あたり17.8億円を見込んでいます。

（税込）

概算事業費（建設費）	598億円	（内訳） 可燃物処理施設：394億円 不燃・粗大ごみ処理施設/資源物処理施設：204億円
財源	交付金165億円、起債365億円、一般財源68億円	

今年度、より経済的な施設整備や運営の仕様等を検討した内容を基に、プラントメーカーにヒアリングを行い、再度、事業費を算出します。

⑧事業方式

近年の物価・人件費の高騰により事業費が高額化しています。設計・建設から施設運営までを民間事業者に一括発注するDBO方式を採用することで、民間ノウハウ活用による事業の効率化、事業費削減を図ります。

⑨周辺道路の混雑緩和策（検討中）

新施設稼動開始後は、ごみ収集車や一般持込車（家庭ごみの直接搬入）が集まることになるので周辺道路が更に混雑するのではないかといった懸念する声を多くいただいています。

本組合としましては、周辺道路混雑への影響を極力緩和できるよう一般持込車の分散化を図ることが必要であると考えており、次の手法の導入を検討しています。

	メリット	デメリット
一般持込みの 事前予約制	・一般持込車の分散化を図ることができ、周辺道路の混雑緩和や直接搬入の待ち時間の減少につながる。 ・計画的にごみの搬入ができる。	・特定の日（祝日など）に予約が集中してしまい、希望する日の予約がとりづらくなる。 ⇒土曜日又は日曜日の受付により選択肢を増やします。 ・事前に予約する必要がある。
一般持込みの 土曜日又は 日曜日の受付	・特定の日（祝日など）に集中していた一般持込車の分散化を図ることができ、周辺道路の混雑緩和につながる。 ・ごみ搬入日の選択肢が増える。	・土曜日又は日曜日に一般持込車が走行することにより、周辺道路が混雑する。 ⇒事前予約制により搬入台数の上限を設定し、車両の分散化を図ります。

両方を一緒に導入することにより、お互いのデメリットを補うことができると考えています

※事前予約制・・・家庭ごみを施設に直接搬入する際、オンラインや電話などにより事前に予約することが必要となります。

⑩稼働開始までのスケジュール

年度	令和7	令和8	令和9	・・・	令和14	令和15
新ごみ広域処理施設	基本計画策定	事業者選定開始	用地取得開始			稼働開始
	造成工事、施設建設工事					

【問い合わせ先】
上尾伊奈資源循環組合
住所：上尾市平塚951-2　FAX：048-658-9472
電話：048-658-9471　HP：https://www.aisj.or.jp